



昭和 47 年
11 月 号
発行所 東郷町役場
編集人

○ ……とじておくと便利です …… ○

優良牛の増産めざす

肉用牛センター近く完成

本町は昭和四十六年度に国の振興山村の指定をうけ、四十七年度から五十年まで各種の事業を実施することになっています。

この事業の特別開発事業としてことは肉用牛管理センターと鶴戸木の農道橋を建設しますが、このほどの工事を始めました。

肉用牛管理センターは羽坂公民館となりの敷地九百七十平方メートルに軽量鉄筋づくり平屋建の管理棟(百十七・二九平方メートル)と鋼管構造平屋建の畜舎(八十四・四四平方メートル)を建設しています。管理棟は事務室と家畜検査、検診場とかなり、畜舎には二十頭の和牛が一度に近づけます。

本町農業の振興を考えると畜産の占めるウエイトは高いものがあります。このため昭和五十年に

は千百頭の和牛飼育を目標にしていますが、これに伴って畜産経営や飼養技術の近代化が欠かせない条件となります。

この肉用牛管理センターは月末には完成の見込みですが、完成すると人工授精、家畜診療、体重測定、登録検査、品評会、技術講習の場として活用されます。そしてこの施設を中心に優良牛の生産と飼養技術の向上をはかり、畜産経営の安定が期待されます。

なお、このセンターは東郷町農協が運営管理します。

鶴戸木農道橋は幅四に長さが七・三メートルの老朽橋とちが成るといままでの老朽橋とちがい危険がなくなり通行が可能となります。この結果、農業資材、生産物の搬出入が円滑になります。



第三日曜日(十九日)は家庭の日

建設工事のすすむ肉用牛管理センター



点滴

交通弱者 十一月は秋から冬への衣替え

の月です。まだあたりのようすは秋の気配がいつぱいなのに日ざしの弱さ、日の暮の早さ、朝夕の手足の冷たさ……などそろそろ近づいた冬を思わせます。

▽例年、年末が近づく自動車と人の動きが一段とはげしくなるので、交通事故が目立ってふえてきます。交通事故の場合、いわゆる「交通弱者」である歩行者に多くの犠牲者が出ることはさげられません。ことし一月から八月までの県内における死亡事故を分析してみても、総数百九人の死者のうち、自動車(運転・同乗など)の六十九人(六二・三%)に次いで多いのが歩行者の三十二人(二九・四%)で、自転車乗車中の死者八人(七・三%)を数えています。

▽運転者は交通事故に係る深いスピード違反や酒よい運転などをしないようにするとともに歩行者もたえず気を配り、悲惨な事故をなくしましょう。

雲去ればもののかげなくうす赤き夕

日の山に秋風ぞ吹く(故郷) 牧水

坪谷中校舎改築など 46年度の決算認定

一般会計と特別会計の決算状況 (単位・円)

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
一般会計	494,326,990	491,775,376	2,551,614
特別会計			
国民健康保険事業会計	77,936,677	64,777,543	13,156,134
簡易水道事業	6,171,313	5,969,704	201,609
農業共済事業	15,074,958	13,626,465	1,448,493
蚕繭共済事業	1,036,651	777,288	259,363
家畜共済事業	3,046,716	2,347,396	699,320
業務勘定	8,825,160	5,746,289	3,078,871

昭和四十六年度東郷町の一般会計と特別会計の決算が九月定例町議会にて認定されましたので、その状況を報告します。

一般会計

四十六年度は町長と町議会議員選挙の年でしたので、歳入歳出予算とも当初予算三億二千六百五十九万五千円の暫定予算で発足しました。

このため年度途中(六月)にこの重点施策の①農林業の振興②教育の振興③社会福祉事業の推進④道路の整備⑤商工業の振興と

観光開発などを積極的にすすめるための補正予算が成立しました。また、老人福祉館の建設、福海橋の追加工事、造林作業道開設児童手当制度の新設、給与改定のため、前後九回にわたって予算の補正をしましたので、予算の総額は五億五千九百九十九万七千円となりました。

この予算執行の実績は、収入が四億九千四百三十二万六千円で予算総額に対し二・二%減少となりました。これは、町税、諸収入などが増えたにもかかわらず、

木材需給の悪化で財産収入(立木売却)が減ったことが主な理由です。

支出済額は四億九千七百七十七万五千円で予算現額に対し二・七%下回る結果となり、歳入歳出差引は残額二百五十五万一千円を翌年度に繰越すことになりました。

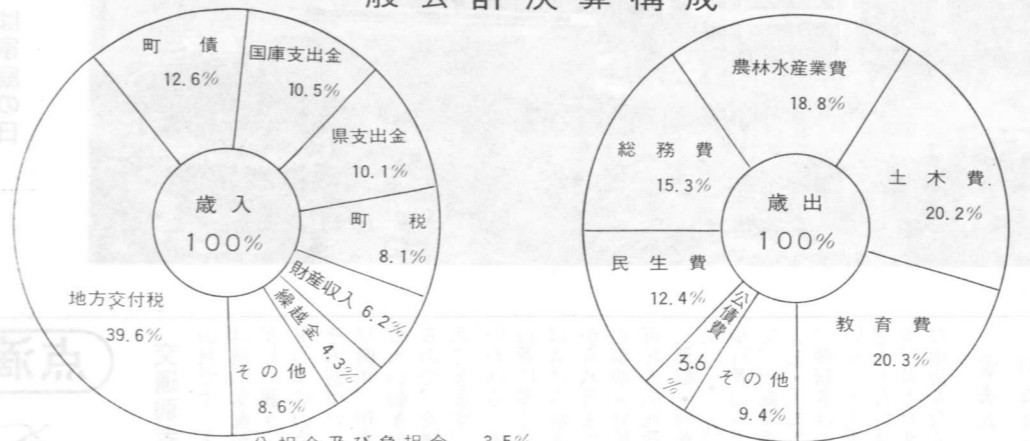
普通建設事業に42%

歳入歳出の決算状況は別図のとおりですが、歳入は前年に比べ一億九百五十一万八千円の増で、その構成費は地方交付税が三九・六%と最も高く、ついで国庫支出金、県支出金、町税の順となっており、不足財源は町債をもって補う結果となっています。

歳出の構成費を目的別にみると教育費、土木費、農林水産業費がそれぞれ高いウエイトを占めており、ついで総務費、民生費の順となっています。

なお、これを性質別にみますと普通建設事業費が最も高く、二億一千五百六十六万四千四百二・八%これは坪谷中校舎改築、林道開設、福海橋工事などのためです。ついで人件費一億三千五百三十一万八千円(二七・五%)、物件費五千七百三十九万九千円(一〇・三%)、補助費等二千六百七十九万九千円(五・四%)の順となり、歳出構成費はほぼ好ましい結果となりました。

一般会計決算構成



分寄諸金	2.0%	議費	2.7%
負担金	1.0%	会費	2.2%
附取	0.7%	防衛費	1.9%
税金	0.6%	災害費	1.3%
交付金	0.5%	衛生費	1.1%
手数料	0.2%	労働費	0.2%
譲与	0.1%		
税金	0.1%		
特別交付金	0%		

農業経営整備資金

負債の解消で 経営の安定を

この資金は、農業を営む個人または法人が、災害、疾病、価格変動などの理由で借入れた負債を解消し、農業経営の安定に役立てようとするものです。

ただし、貸付対象の負債は、昭和四十五年三月三十一日現在で一年以上の固定化したもの(昭和四十四年三月三十一日以前に借入れた資金)であり、その額が三十万円(法人は構成員の属する世帯数に三十万円を乗じた額)以上でなければなりません。

この制度は時限的なもので、四十八年度で終了します。借入れを希望する人は早目に手続きをしてください。

貸受の資格要件

まずこの資金を借入れる場合に

73年版県民手帳

一九七三年版の宮崎県民手帳をあっせんします。価格は一冊百八十円で、内容は日記編のほか統計数字や郵便料などを収録しています。希望者は役場企画係でお求めください。

は、必ず貸付が適格であるということの県知事の認定を受ける必要があります。この認定を受けるためには、つぎの要件を備えていることが条件となります。

○ 借受けることのできる農業者などは、つぎのいずれかに該当し、その農業所得がおおむね五十万円(法人は構成員の属する世帯数に五十万円を乗じた額)以上であること。

(1) 自立経営農業者であり、さらに農業経営の安定を図るため、規模拡大をしようとするもの。
(2) 五年以内に自立経営農業者になることが確実と認められる者で、規模拡大をしようとするもの。
(3) 自立経営農業者であつて、現に一定規模以上の経営規模を有すると認められるもの。

借入手続

この資金の借入れを希望する人は、「借入希望調書」を農協に提出して下さい。

貸付の条件

1 貸付の限度額

- 個人 二百万円
法人 一千万円
(法人を構成する世帯数が五以下の場合、その世帯数に二百万円を乗じた額)
- 知事が特に承認した額
融資率一〇〇%
- 償還期間および据置期間
この資金の償還期間は十五年以内で、そのうち据置期間は五年以内となっています。
- 貸付利率 年四%
- 取扱金融機関 農協

提出する書類

- 経営整備資金借入希望調書を農協に一部提出します。
- 営農改善計画書を五部作成し三部を町に提出します。
- 南資金、総合資金などの営農(経営)改善計画書を作成するときは、その改善計画書をもってあてることができます。
- この資金を借受けた人は、自分の経営状況をは握するために簿記を備えつけ、記帳することになっていきます。

営農改善計画

- 営農改善計画を作成するとき、町、農協、農林振興局、農業改良普及所と協議し、指導をうけてください。
- 計画の目標達成時の所得(農業所得)は百十万円以上になるような計画でなければなりません。

町民体育祭を ふりかえって

ことしの体育祭はかつてない盛況であったと思う。野外の行事は天候に支配されるのであるが、この日は絶好の秋びよりで、競技のすべてが終ったとたんに雨となったが、熱しかった心を洗うような心よい雨であった。

数々の記録が生まれたが、日ごろの鍛錬の成果とはいえないにしてもたいへんりっぱなもので、これをもちにこれから年をおって更新されていかななくてはならない。そして国民体育大会、オリンピックへと通ずることを期待する。

一秒や一センチの記録を破るために多額の金を使うスポーツよりは、もっと別な面に使った方がよいというある人の意見があった。考え方のちがいであるが、記録を争わないスポーツ、勝負のないスポーツはおよそ生気のないことおびただしい。全精力をあげて勝負を争い、生命をかけて記録を樹立することに人間の進歩があり、生きがいがあるのではないか。もちろん勝つためにまたは新しい記録をつくるために邪道に走ることは厳につつまなければならぬ。

ことしの体育祭で異彩を放ったのは誕生したばかりの東郷町のボーイスカウトのかがいがいしい働きであったと思う。真新しい服装

町長 随想

もう一つは町議会議員の競技への参加である。いまだかつてそのの服装で議員の全員が体育祭に出場したという話をきかない。このようにあるのがほんとうだろうか、やはり果敢とすべきで、なかなかできないことである。

ギリシャのテルフェウス河を十一マイル(約十七キロ)さかのぼった北岸に聖地オリンピアがある。ギリシャ神話の首神ゼウスをまつる神殿があり、その奉納競技がオリンピック発祥となった。

フランスのクーベルタイン男爵はオリンピックの第一回大会が一九六六年ギリシャの首都アテネで開かれたとき「オリンピックは勝つことが目的ではなく、参加することに意義がある」と叫び、これをオリンピックの理想とした。

体育祭とはすべての町民がこの行事に参加し、心身を鍛錬し、お互いの親善と融和をはかることにあると思う。それと同時に輝かしい記録が生まれることを望む。

九月三日の郡民体育大会では東郷町は最下位の成績であった。すばらしい運動場に恥じないような成績はあげられないものか。

(小野 弘)



年齢別リレー（男 羽坂 女 鶴野内）が優勝

盛会だった町民体育祭

十月十五日「家庭の日」に町営総合グラウンドで第十二回町民体育祭がありました。毎年体育の日

柔道愛好会生まれる

ひところ在町青年の間に盛んであった柔道も社会情勢の変化に伴

いま会員は十五人で毎週日曜日火曜日、木曜日の夜間に東郷中体

東郷町子ども会 育成連絡協議会 を結成

九月二十二日、子どもの健全育成をねがう親の積極的な連帯感の

- 副会長 塗木豊(鶴野内)
理事 中野満(仲深) 海野与平(寺迫) 橋口登(福瀬)
歌津博(追野内) 伊藤喜市(八重原) 稲田喜長(田野)
吉田寿美(羽坂) 大塚奥右エ門(坪谷)
田中守(越表) 矢野宝蔵(坪谷)
池田義巳(小野田)
各市区育成連絡協議会から三人

- 事業
一、子ども会指導者の養成
二、子ども会リーダーの養成
三、子ども会とその振興者の相互連絡
四、子ども会活動と普及に関する調査
五、研究、資料の刊行、広報宣伝
六、その他本会の目的達成のための事業
なお細部の事業計画は理事会、代議員会に提案して決めることになり、事務局は本町教育委員会におきます。

始まった狩猟シーズン!! 獲物より安全第一を

警察官駐在所

十一月一日は狩猟解禁、ハンター待望のシーズンが到来しましたが、本県は他県に比べ獲物が多い

がきめられたルールとマナーを正しく守って、趣味が悲劇を呼ばないシーズンでありたいものです。

人身事故の防止

昨年、狩猟期間中に県内では猟銃による人身事故が五件発生し、このため一人が亡くなり、四人がケガをしています。

行楽期の交通事故をなくそう!!

- (1) 撃ち終ったら、その都度安全装置をかける。
(2) 猟をしないときは「タマ」は抜いておく。
(3) 猟銃などの保管は確実に
(4) 無理な追い越しによる死亡事故が頻発しています。追い越しをするときは、対向車に注意し追いつき距離が十分とれるところで行なってください。
(5) 無理な追い越しによる死亡事故が頻発しています。追い越しをするときは、対向車に注意し追いつき距離が十分とれるところで行なってください。
(6) 二輪車を運転するときは、ヘルメットをかかずに着用してくだ

郵便貯金で住みよい社会づくり

郵便貯金にみなさんからお預りしたお金は、全国で十兆円をこえました。この十兆円は一万円札で

宮崎県でも二百九十五億円の郵便貯金が県政の発展に役立てられており、またわたしたちの郷土東郷町でも六千万円が地元で還元さ



「どれどれ ちよっと...」
「あれが思わぬ事故のもと」

秋の行楽期を迎え、県内の各観光地は混雑してまいります。例年この時期には県外からマイカーで来る人が多く、交通事故も多発しています。

この膨大な額の郵便貯金は住宅や学校、病院の建設、道路の拡張や整備、公害の防止などに使われわたしたちの住みよい社会づくりに役立っています。

山陰 郵便局 坪谷

90歳以上のおとしよりを訪ねて

福祉館だより

九月十五日「敬老の日」に町内の九十歳以上のおとしより十人の方を町長と助役が訪問し、長寿のお祝いを申しあげました。寺迫の海野徳次郎さん(九七)は近ごろは少し耳が遠くなったと言いつつ、メガネもかけず新聞を見ておられました。家の人の話ではまだ農作業の加勢もしてもらい、食事も好きらしいは、毎晩しゃくを五勺、昼寝を二時間ぐらいつつと、まだまだ

人事発令

十月一日付でつぎのとおり職員が発令をいたしました。
 ▽建設課管理係長事務取扱 矢野森一郎 同工務第二係長 新名淳一 ▽教育委員会坪谷中および坪谷小養護婦 塩月富子(新採用)
 ▽教育委員 高森文夫(再)
 ▽監査委員 藤崎今朝男(再)

前建設課管理係長であった草野昭二が九月二十五日急逝しました。ここに慎んで故人の冥福をお祈りしますともお知らせします。

福瀬の長渡ツルさん(九二)は耳が少し遠いようですが元氣者です。楽しみは特別ないが、しょうちゅうで晩しゃくを二合やらないと寝つきが悪いワックハッハー」と元氣なものです。

瀬平の海野八右衛門さん(九〇)はまだ若い者には負けられない。山仕事にも行くが百姓は米が一番だから田を耕さなければ」とゴ

サップ研修を終つて

瀬平山崎時男

わたしは、六月二十六日から一週間、宮崎県総合農業試験場畜産部でサップ専門研修を受けたあと七月三十一日から、五泊六日で県外視察研修のため、中国地方の先進養蚕農家を視察しました。

主な視察地は、兵庫県神戸市の神戸生糸検査所、兵庫県養父郡関宮町で養蚕を営んでいる川浜さん鳥取県東伯郡大栄町の亀谷養蚕組合でした。

神戸生糸検査所は、製糸工場で生産した生糸を検査する所です。その検査項目は、十五種類ほどで

川浜さんの家は、国道九号線沿いの深谷を望む山腹の斜面に、桑園と養蚕施設があります。川浜さんは、養蚕専業農家で、桑園面積は二ヘクタール、年間掃立明量は七回飼育で七十六箱です。総収量は二千二百六十三キロ

うも高いが部落一番の元氣者のようです。八重原の橋本キクさん(九一)もなかなか元氣です。老人ホームの児玉清六さん(九二)も静かにホームで暮らしておられます。

これから先も元氣で幸福にすごされますことをお祈りします。町老人福祉館長

一〇アール当り収量は百十三・二キロです。亀谷養蚕組合は、前に述べた川浜さんとは違って、桑園、養蚕施設が平坦地にあります。しかし、四十三年には四十一戸だった亀谷組合の養蚕農家も、ことは十八戸しかないということでした。

その理由は、桑園が萎縮病で採桑不可能になっていたため、いまは大部分の桑園が掘り取られ、そのあとには、すいか、芝、長いもなどが植付けられています。とくにすいかは、四百ヘクタール植付けてあり、一〇アール当り収入は二十四万円から二十五万円になるという説明でした。なお養蚕のほうは、昨年、土壌検査を実施し、それにもとづいて土地改良をしていままでも浅植二十五センチだったのを深植百六十センチにして二・六ヘクタール植付けたそうです。

いまこの亀谷組合では、この新植地に、養蚕の生命がかかっているといつてもよいくらいでした。実際桑園に行ってみると、新植地にも、萎縮病の兆候があらわれていました。

近代的養蚕技術を

こんどの視察研修に参加して一番感じたことは、川浜さん、亀谷組合のどちらも、いろいろの悪条件とたたかいつつながら、養蚕経営にがんばっているということです。

一〇アール当り収量でも、わたしたちをはるかにオーバーしています。とくに川浜さんの自宅と養蚕施設、桑園とは約二キロで離ながつていますが、まだ若い川浜さん(三十一歳)の大自然とのたたかいといえるでしょう。ただ残念だったのは、現地の桑園まで行けなかったことです。

亀谷組合も桑園が萎縮病でやられながら、なお養蚕を続けようという気持には、非常に考えさせられるものがありました。

これらの現地視察を終つて、わたしは、まだまだ条件に恵まれていると思つています。この恵まれた土地、気候、環境を最大に利用し、近代的養蚕技術を取り入れ、省力化、機械化された養蚕経営にもつていきたいと思つています。

そして一〇アール当り収量も上げていき、川浜さんに負けないような、養蚕経営をやつていきたいと思つています。

中央公民館 建設工事始まる

十月号でもお知らせしたように町営グラウンドの敷地内に建設することになっている中央公民館の起工式が十月十九日に行われました。この公民館は本町の社会教育の中心として各種講座や研修会、あるいは結婚式場として、また大集会室は体力づくり、レクリエーション施設として利用することになっています。



完成するのは来年三月の見込みですが、こん月行なわれる文化祭や公民館バレーボール大会などはこの公民館が完成する来年にはこで行なわれます。健康で文化的な生活をめざす中心施設として、一日でも早い完成が待たれます。

本町教育百年の歩み(上)

塩月儀市

◎特殊学級設置と教科書無償配布 昭和三十七年四月、はじめて東郷小学校に特殊学級を設置し、その後東郷中学校、坪谷小学校に設置しました。

昭和三十八年に「義務教育諸学校の教科用図書は無償配布に関する法律」が公布され、この年から小学校一年生から順次全員に支給することになりました。

◎土産科福産本力編集 昭和三十八年に本町小、中学校の先生で作っている社会科研究会が、社会科副読本の編集に着手し、昭和四十年三月に社会科副読本「わたしたちの東郷村」が完成しました。

◎教育振興会の結成 教育の正常な振興をはかるために町内有識者によって、昭和四十四年十一月に東郷町教育振興会が結成されました。

◎交歓力制定 昭和二十年代、三十年代に各小中学校に校歌が制定されました。東郷小学校高森文夫作詞 「希望の空の青く澄む 緑の山のゆりかごに わが学び屋はいだかれてここに理想の鐘がなる」

坪谷小学校 高森文夫作詞 「天地の霧と光に

濃緑の麦の芽が伸び 早萩の萌えでるようにな わたしたちは成長しようからだもこころもすこやかに

・福瀬小学校 海野実門作詞 「秀立ちだけだき冠岳 東ふもとのせせらぎに 朝光はやく白滝はゆる さわやかさが学び舎よ (以下略)

・寺迫小学校 佐伯英雄作詞 「はれ渡る青空朝日さす丘 希望にみちてかがやく瞳 学びの道にいそむよい子 ああ静かなる寺迫小学校」 (以下略)

・越表小学校 高森文夫作詞 「学びの庭の青い空 尾鈴の峰の白い雲 希望の歌の湧いてくる ああ越表小学校」 (以下略)

・東郷中学校 中村正雄作詞 「清新の風日々ゆき 美々津の瀬音えんえんと 秀峰四方にそるとき 真理を極め平和に徹し あらた生命と学ばな友よ 栄えある学園東郷中(以下略)

・坪谷中学校 大悟法利雄作詞 「尾鈴の高嶺坪谷川 見よや牧水先生を 育みそでて先生の 歌に輝く山川の この美わしき清らかさ ああ幸深き坪谷中学(以下略)



住民の結核検診



十月二十三日と二十四日の二日間、老人福祉館で結核の精密検診があり、一人が治療を必要だと診断されました。この検診は十月二日から七日までの期間、町内各地でレントゲン間接撮影(千五百六十三人受診)の結果精密検診を必要だとされた二百四十人に対し、レントゲンの直接撮影と医師の診察などを実施したもので、この日は百八十八人が受診しました。精密検診を必要だといわれた人のなかで二・七%にあたる五十二人が検診を受けていません。自分のからだは自分自身で守らねばなりません。毎年一回は必ずこれらの検診を受けましょう。



お知らせ

身体障害者の相談

▽日時 十一月二十八日
午前十時より午後三時ま
で。

▽場所 町老人福祉館
▽相談の対象者と範囲

肢体不自由—義手、義足、
車イス、松葉杖、補助杖、
コルセット、靴型器具など
の修理、再交付、型取、申
請手続

聴力障害—補聴器の修理の
ほか再交付申請手続
視力障害—盲人安全杖、点
字器の交付、再交付申請の
手続
障害者で施設入所を希望する
人—入所の一般的相談
▽相談当日持参するもの
申請手続のための障害者手帳
と印鑑および修理の必要な補
装具など

▽相談は過去に補装具の交付をう
けた人に限りませんが補助杖
盲人杖、松葉杖は新規交付を
いたします。

畜魂碑建設 のおねがい

いま、羽坂に町の肉用牛管理セ
ンターの建設がすすめられていま

すが、この機会に町内畜産農家の
代表者が発起人となって「畜魂碑」
を建設することになりました。
先祖代代農業を営み、多くの家
畜が生産され、購入され、処分さ
れてきました。動物の宿命とはい
え、短かき生命の哀れさを感じる
のは畜産関係者や生産者のみでは
ないと思ます。

この因果応報をつぐない、生物
に対する博愛の精神にもとづき、
これら家畜の魂をしずめ、心の安
らぎとするためセンターの一角に
「畜魂碑」を建立することになっ
たものです。

町と農協の後援のもとに、町民
のみなさんの喜捨を仰ぎ、生産者
の篤志をおねがいたします。
畜魂碑建設発起人一同

東郷ライオンズ クラブの認証式

▽期日 十一月五日(日曜日)

▽場所 東郷中体育館

▽式典 認証状伝達式典には県知
事をはじめ約五十人の来賓と
九州各県のライオンズクラブ
会員約四百人が参加の予定

▽祝賀行事

◎アトラクション

福瀬のこどもかぐら
鶴野内有志の白太鼓
朗詠と民謡

◎青空音楽会

午後一時より二時まで東郷
中校庭(雨天のときは東郷

火災シーズン来る

秋の火災予防運動

11月26日 ~ 12月2日



日ごろから避難訓練を

(特に併用住宅では)

今月の納税等

国民健康保険税 第四期
家畜共済掛金
小野田、鶴野内、迫野内
八重原、田野、羽坂
納期 十一月三十日

香典返し

小体育館)で宮崎県警察音
楽隊の演奏があります。多
数のおいでをお待ちします

◆寺迫区の橋口征郎さんから故
典生さんの忌明けに◆日向市の草
野恭子さんから故昭二さんの忌明
けに香典返しとして町社会福祉協
議会にそれぞれご寄付いただきま
した。

ここに慎んで故人の冥福をお祈
りしますとともに厚くお礼を申し
上げます。

東郷町社会福祉協議会

戸籍だより

出生おめでとう

(九月届出分)

赤ちゃんの名	父の名	部落
小林純則	幸章	福瀬
小林睦美	和男	"
川越仁紘	紀	"
成実真米	美	迫野内
井本哲也	洲之	福瀬
前田昌弘	福美	迫野内

結婚おめでとう

氏名	部落
高尾範久	福瀬
佐藤せつ子	大分県

死亡ご冥福を祈ります

氏名	年令	部落
高木スエ	七〇	鶴野内
森本富好	六七	"
渦尾紋治	七六	"
橋口典生	五	寺迫
黒木英市	二〇	迫野内

人	口
47年9月1日現在	(対前月比)
男 3,408人 (+8)	
女 3,695人 (+10)	
総数 7,103人 (+18)	
世帯数 1,769世帯 (+2)	